

なごみ

平成二十八年十月 題字 周防 和衛

第十一回敬老祝賀会を終えて

敬老祝賀会実行委員長

柴田 博

宝塚ちどりででは毎年九月に、喜寿・米寿・白寿・長寿を迎えるご利用者へのお祝いに、敬老祝賀会を開催しています。本会は今年で十一回目となりますが、

今年も地域の自治会長様方やご家族、ボランティアの皆様にご参加、ご協力を頂き、盛況の内に執り行うことが出来ました。

当日は台風が接近しており天候には恵まれませんでしたが、二十一名もの祝賀対象のご利用者のご家族をお迎えし、例年以上に賑やかな祝賀会となりました。



はじめに職員が開会を宣言しますと、会場全体に張り詰めた空気が漂い、ご利用者の皆様も式典の雰囲気を感じ取られてか、少し緊張された表情をされていました。

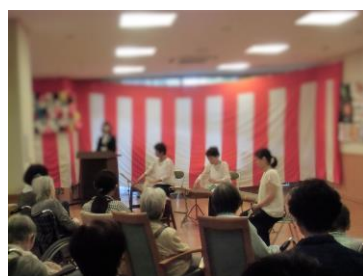


次にご出席頂いた来賓の方々のご紹介をさせて頂き、当法人理事長濱田と来賓代表の福井・亀井町自治会長村山様より、お祝いのお言葉を頂きました。

また、中川宝塚市長より頂戴した祝電の紹介をさせて頂きました。

続いて、末成小学校よりボランティアで参加頂いた末成ジュニアウィング様の演奏に合わせて、対象のご利用者にご記念の花束と表彰状の授与式が行われました。理事長が対象の

ご利用者お一人ずつに、目の前で表彰状を読み上げお渡しすると、皆様満面の笑顔で受け取ってくださいました。中には感極まったご様子で涙ぐまれる方もおられました。授与式の最後には、桜台・雲雀ヶ丘ユニットで生活されている道本様より、ご利用者を代表してお礼のお言葉を頂きました。「いつもお世話になって申し訳なく思っています。辛いこともありますが、頑張っています。いってきます」と挨拶されますと、会場の皆様より暖かい拍手を受けられました。



その後は、ボランティアの末成ジュニアウィング様による吹奏楽と、さくら会様による和琴の演奏会が開催されました。

演奏会は授与式から席替えを行い、ご家族が隣席になると、ご利用者の緊張も解けて自然に和気あいあいとした雰囲気になりました。

祝賀会の後に参加された、ご利用者や、連休で面会に来られていたご家族も多数参加されました。おなじみの曲目では皆様演奏に合わせて歌を歌われるなどして、リラックスした様子で楽しんで頂けました。

以上で祝賀会は閉会となり、盛況の内に式典を終えることができました。天候不順の中、ご出席、ご協力頂いた来賓とボランティアの皆様には、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

◇表彰者インタビュー

この度、八十八歳の米寿を受賞された、グループホームの大沼よし様にインタビューをしました。その様子をお伝えします。



Q1 敬老会での米寿（八十八歳）の受賞をされましたが、感想

を聞かせてください

A こんなに長いこと元気で生きてきてよかったです。

Q2 お元気の秘訣を教えてください

A やっぱりご飯を朝・昼・晩食べて、よく眠ることかなあ。

Q3 では一番好きな食べ物をきかせてください

A お菓子かなあ。特に甘いもの。中でも饅頭が好きです。

Q4 今までお元気に過ごしてきました良かったことを教えてください

A ここに来てから、たくさんのお友達に出会えたり、働いている職員さんに出会えたことです。

Q5 これからの楽しみを聞かせてください

A 病気をせずに、今いるお友達とたくさんお話して、これからも元気に過ごしていきたい

です。百歳まで頑張ります！

大沼よし様、ありがとうございました。（鎌倉）

■委員会報告

◇事故防止委員会

九月の事故防止委員会では、先月に引き続き各部署のラウンドを行いました。

先月ラウンドする際の書式を作成し、確認する点を統一していくと挙げました。細かく項目を作成し振り返りが出来やすい書式にして見てはどうか？との意見があり、再度作成し活用することで、より有効なラウンドが期待できます。

今月確認する重点項目として、ユニットで開催する会議等で事故・ヒヤリハットについてスタッフ間での協議の記録を確認しました。議事録の確認を行い、起こった事故等への改善策について各スタッフに対し、どこまで周知・実践出来ているのかをチェックしていきました。

なかには周知・実践が不十分と感じる箇所もありましたので、今後もチェック体制の一つとして取り組んでいきます。

「今月の再確認を行った場面」

日々の中には介助が必要な場面が重なることがあります。そういった時は、ご利用者が落ち着いて過ごすための配慮を忘れがちになることがあります。今回はその一つの場面として考えられる、トイレでの見守りのあり方について確認をしました。ご利用者の羞恥心に配慮して、スタッフがすぐに動ける範囲で待機し、見守りを行うことを呼びかけていきます。(福岡)

◇給食委員会

給食委員会では、これまでよりお食事を楽しんで頂ける献立作りに取り組んでいます。八月に第一弾の彩りメニューがスタートしましたが、九月からは第二弾として、思い出メニュー”を毎月一回ご用意させて頂

きます。これは、ご利用者から思い入れのある料理をお聞きして、出来るだけ再現させて頂くというものです。料理に関するエピソードをカードにして、お食事に沿えてお届けします。

今回は親子丼



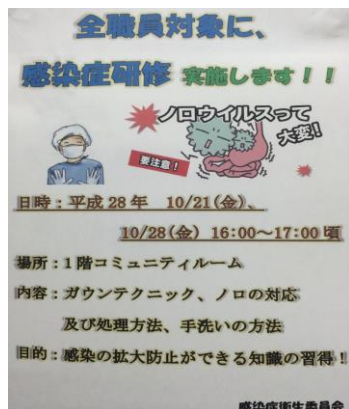
で、「おかずを考える手間が省けるし、子どもが卵料理を好きで喜んでくれた」という話をして頂きました。皆様

カードに目を通されると、「そうそう」と頷かれたり、ご自身の思い出を話して下さったりします。会話が花が咲き、普段と少し違ったお食事の雰囲気を楽しんで頂けたご様子でした。彩りメニューの方も、ポスターを用意して、取り組みをアピールしていきます。ご利用者や職員の感想・意見を取り入れて、より美味しく楽しいお食事をお届けしたいと考えています。(柴田)

◇感染症対策委員会

感染症衛生委員会では、今後も引き続き、十月二十一日、二十八日に開催予定の感染症研修に向けて準備を行っています。主な内容としては、感染症研修の役割と段取りの再確認、資料のチェックを行いました。そして、研修を行う前に、ノロウイルスに対する備品のチェックリストの改定を行いました。本格的な流行期を前に、備品の発注や在庫の確認を行う

ことで、感染拡大防止対策が行えるよう心掛けていきます。また、十月



の研修を受講することで、各職員のスキルアップや知識の向上を促し、迅速で的確な対応が取れるようにしていきます。今後、感染症が発生しやすい流行期に向けて、ご利用者の健康面に配慮

していきます。(浅井)

◆地域交流委員会

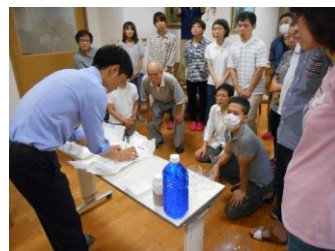
地域交流委員会では毎月二回、ボランティアの方々にご協力頂き、生け花サークルを開催をしています。季節の花をご用意して頂き、参加されているご利用者は、先生とご相談をされながら楽しんで花を生けておられます。参加されているご利用者からは「綺麗なお花やね」「昔、ちよっとやってたの」等、生き生きとした表情でお話をされています。生けたお花をユニットのリビング等で飾らせて頂くと、参加されているご利用者の方からも「こんなにきれいなお花があると、華やかな雰囲気になるね」等おっしゃられます。

「介護技術講習会開催のお知らせ」
十月三十日(日)十三時三十分より介護技術講習会の開催を予定しています。介護技術講習会は職員が地域の方に向けて介護について技術・知識を発信し、地域の方々の一助に

なればと開催をしております。今回は「排泄介助」と「感染症対策」をテーマに開催を予定しておりますので、ご関心のある方は是非ご参加ください。(安藤)

■排泄介助研修を行いました

九月二十一日と二十八日に内部研修として、排泄介助研修を行いました。



今回の排泄介助研修では大王製紙株式会社を担当者様にお越し頂き、現在宝塚ちどりで使用しているオムツの性能や特徴の理解、パットの当て方のコツを教えて頂きました。

普段から使用している見慣れたオムツでも、改めて性能の説明を受けると、新しい発見もありました。その中でも実際にオムツに水を流し、同じオム



ツでも吸収スピードの違いを比べる実験があり、吸収スピードの違いを見た職員からは驚きの声があがっていました。その他にもパットの種類も豊富にあり用途に合わせた使い方がある事も学びました。

この研修に参加した職員は、排泄に関する知識の向上に繋がるいい機会になりました。



(荻田)

編集後記

十月に入って急に涼しくなり体調管理の難しい時期になってまいりました。運動会に文化祭に行事の多い時期、体調崩されませんかようお体ご自愛下さい。

(中島)

